



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2022-23 クラブテーマ **未来創造**

2023. 3. 27

新会員卓話

No.2443

No.26



## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

松崎 孝史

最近「リスペクト」という言葉を耳にします。「尊敬」という意味です。

先週まで行われていた WBC (ワールド・ベースボール・クラシック) においても使われました。

「日本対チェコ」の試合でもネット上では「気持ちがいい試合」「リスペクト持ってきている」という投稿が多くありました。

チェコはアマチュアリーグの選手ばかりです。日本チームは国内のプロはもとよりメジャーリーグの選手も揃えています。どう考えても日本が優位な試合でしたが、チェコはひるまず全力で戦ってくれました。

その気持ちがお互い通じたようです。

佐々木投手が投げた 162km の直球がエスカラ選手の足に当たりました。エスカラ選手は悶絶しましたが立ち上がり一塁に全力で向かいました。佐々木投手は帽子をとって謝りエスカラ選手もそれに応じていました。

その光景をみて私は、チェコはめっちゃくちゃ日本にリスペクト持ってきているんだなと感じました。さらに試合終了後は、日本に向かって拍手をしてきていました。

翌日の大谷選手の写真を見ると、チェコの帽子をかぶりアメリカへ向かう写真が掲載されていました。

大谷選手もチェコを「リスペクト」しているんだなと感じた写真でした。

◆本日の出席：41 名中 23 名

◆先週までの通算出席率：84.54%

◆先週までのメイクアップ：▷3/13 次年度クラブ運営会議 (松木屋) へ熊倉高志君、吉沢栄一君、田中康之君、坪井康紀君、永桶俊一君、加藤一芳君、桑原朋子さん▷3/22 市内4RC 次年度会長幹事会 (松木屋) 熊倉高志君、吉沢栄一君▷3/22 三条 RC へ西潟精一君▷3/23 三条東 RC へ平松修之君、渡辺俊明君

## ◆幹事報告 太田義人幹事

◇新潟中央 RC より

「創立 30 周年記念式典祝賀会」のご案内

日時：2023 年 5 月 13 日 (土)

15:30~ 受付

16:00~ 記念式典

~19:00 祝賀会

会場：ANA クラウンプラザホテル新潟

◇新潟万代 RC より

「創立 30 周年記念式典祝賀会」のご案内

日時：2023 年 6 月 4 日 (日)

13:00~ 受付

14:00~ 記念式典

~18:00 祝賀会

会場：ホテルオークラ新潟

◇次年度第四分区ガバナー補佐より

「次年度第四分区会長幹事会」のご案内

日時：2023 年 6 月 7 日 (水)

17:00~18:30 会議

~20:00 懇親会

会場：三条ロイヤルホテル

◇米山忠俊ガバナーエレクトより 「PETS 御礼状」

## ニコニコボックス

3/27 10,000 円 本年度累計 347,000 円

松崎会長「WBC も終わりました。今日は横山さんの卓話です。宜しく願います」

太田幹事「横山さんのすばらしい卓話を楽しみにしています」

西潟君「今日、徐々にカレーライスです。元気をつけて頑張ります」

銅冶君「横山さん、本日の卓話ありがとうございます」

木村君「横山さん、本日はよろしく願います」

熊倉君、吉沢君「横山さん、卓話楽しみにしています」

田代君、藤田君「BOX に協力します」

石山君「BOX にご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)  
第 2560 地区ガバナー 高橋 秀樹 (新潟)  
第 4 分区ガバナー補佐 渡邊 喜彦 (巻)  
会長 松崎 孝史  
幹事 太田 義人  
SAA 桑原 朋子

事務局  
〒955-8666 三条市御町 2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp

# 新会員卓話

## 「めっきについて」



### 横山 慎 会員

#### 有限会社横山メッキ工場について



新潟県三条市今井野新田950番地

1949年創業

1960年会社改組

取り扱いめっき・表面処理加工

- ・亜鉛めっき、亜鉛回転めっき  
(三価クロム 三価クロムメート 三価黒クロムメート 六価クロムメート)
- ・亜鉛ニッケル合金メッキ
- ・黒クロムめっき 黒色三価クロムめっき
- ・無電解ニッケルめっき Pbフリー
- ・ニッケルクロムめっき ・ニッケルめっき ・ニッケル回転めっき
- ・スズ-コバルト回転めっき(セミクロ)
- ・コスマー塗装 ・フィニガード ・代替アロジン(アルミ三価化成処理)

「メッキ」と表記されることも多いことから「メッキ」は外来語だと思っている方も多いかと思いますが、「めっき」は日本語になります。

めっきの語源は減金(めっきん)に由来します。東大寺盧舎那仏像(奈良の大仏)は、水銀アマルガム法でめっきを行っています。金を固着させる方法から塗金(とぎん)、合金液に金が水銀に溶けて見えなくなることから減金(めっきん)、鍍金(めっき)、現在では、鍍の字が常用漢字でないことから「めっき」と表記される様になっています。

めっきの起源は約3500年前に遡り、日本でメッキが使われ始めたのは、古墳時代である4~7世紀頃とされています。大陸から仏教とともにその技術が伝来し、古墳時代後期にはアマルガム法による手法で馬具などにメッキが施されるようになりました。その後、剣や仏像、装飾品などにも使用されるようになりました。

イタリアの物理学者・ボルタが1800年に考案したボルタ電池によって、人類は電気を実用化できるようになり、電池の誕生から5年後、1805年に「電気めっき」が発明されました。わが国では、江戸時代末期の1855年に薩摩藩主島津斉彬が甲冑金具に金めっきや銀メッキを施したのが最初とされています。

明治時代後半、大容量の直流電源が得られる装置が開発されたことにより、工場制度化への道が急速に発展しました。ニッケルめっきは、家具・食器・医療器具・自転車部品など、身近にある様々な品物に用いられました。当時は光沢めっきの技術がまだ確立されていなかったため、めっき処理後にバフ研磨を行うことで艶のある表面に仕上げていました。

驚くべき事に、ニッケルめっき液の管理は比重の確認と「舌」による検査で行われていました。人がニッケルめっき液を舐めて、「甘い」・「辛い」の勘で判断していたそうです。ニッケルは食品などにも含まれる成分ですが、味覚を使って管理するというのは現代にはない発想です。

#### めっきの目的について

- 1つ目は、製品に美観を与える「装飾性」
- 2つ目は、金属の錆びを防止する「耐食性・防錆性」
- 3つ目は、別の機能を付与する「機能性」

まず1つ目、一般的に「めっき」で最初にイメージされるのは装飾用途が多いでしょう。

装飾という言葉通り、見た目の美しさや高級感を得るために使用されるほかに、「軽量化」も大きな目的の一つになります。例えば自動車の場合、エンブレムやバンパー・フロントグリル・内装のインパネフレームなどに使われていますが、これらをすべて金属製品にしてしまうと、車両重量が重たくなり燃費にも、走行性能にも悪影響を与えてしまいます(もちろん、製造コストも高くなります)。また、アクセサリも同様です。だって、重いイヤリングやネックレスをずっと着けていると疲れてしまいます。

2つ目は防錆めっきと呼ばれている技術です。

金属はさびると、どうなるのでしょうか？

まず、見た目が悪くなりますが、問題はそれだけではありません。ものの安全性・信頼性にも大きな影響を与えます。例えば、物を固定するためのねじがさびると、機能を果たせなくなり故障や事故の原因になります。金属はさびると脆くなって原形をとどめられなくなったり、他の部品などにも悪影響を及ぼします。

鉄は錆びやすいため、鉄の表面に錆びにくい金属をめっきしたり、逆に鉄よりさびやすい金属をめっき(犠牲防食)することで、モノそのものがさびるのを防ぎます。

ガードレールやボルトやナットなど、金属部品の表面にはこの防食めっきをされているものが多いです。

3つ目、防食性以外の機能とは、

- ・電気的特性(電気を通しやすくするなど)
- ・機械的特性(摩耗しにくくなるなど)
- ・物理的特性(圧着しやすくなるなど)
- ・化学的特性(菌やウイルスの増殖を抑えるなど)
- ・光的特性(よく光を反射するようになる、あるいは逆に反射しにくくなるなど)
- ・熱的特性(熱が伝わりやすくなるなど)

例えば、電子機器の部品同士を接合するために、めっきが用いられます(接合めっきと言われることもあります)。電子機器の内側、見えないところに使われているため、あまり気付きませんが、実は、現代のデジタル社会には必要不可欠な技術のひとつです。

パソコンを始めとした電子機器も「めっき」がなければ動かすことができません。基板一つ見ても、配線形成のための銅めっき、はんだ付け性のニッケルめっき、接点のための金めっきなど様々なめっき技術が見受けられます。

最後になりますが、当社では事業再構築補助金申請が通り、今秋にもイオンプレーティングの設備を導入する予定となっています。

今後も新たな表面処理にチャレンジしていきます。